山梨日日新聞　2015年2月3日（火）

峡南
山本 昂輝
小池 直輝
(0556)22-5431,5432
FAX 22-1797

高校生でパソコン「マスター」

前田さん（峡南高3年）4科目合格

「将来に生かしたい」

峡南高情報ビジネス科3年のゴメスソラヤ前田さんが、パソコンの国際資格「マイクロソフトオフィススペシャリスト（MOS）」のワードやエクセルなど規定の4科目に合格し、MOSマスターに認定された。高校生での認定は珍しいという。同校生徒では初めて。

前田さんはブラジル出身。2歳の時に来日し、10年ほど前からパソコンを扱い始めた。「初めはインターネットでサイト巡りをするだけだった」というが、将来はパソコンを使った仕事をしたいと思うようになり、ワードやエクセルを基本から学べる同校に進学した。

同校によると、MOSマスターは、同じバージョンでワードやエクセルなど規定の4科目の合格者に認定される称号。前田さんは、オフィス2010のワード、エクセル、パワーポイント、アクセスの4科目に合格した。マスターになると、複数のアプリケーションソフトを使いこなせることが証明でき、企業からも高い評価を受けるという。

マイクロソフトオフィススペシャリストマスターに認定されたゴメスソラヤ前田さん　＝峡南高

前田さんは2013年から、週2回のパソコン教室のほか、自宅、学校で勉強を重ねた。同10月に1科目目となるパワーポイントの試験に合格。約1年後の昨年12月までに規定の4科目すべてに合格し、マスターの称号を得た。

国内のMOS試験を実施運営するオデッセイコミュニケーションズ（東京都千代田区）によると、1月7日現在の国内の累計受験者数は約350万人で、累計約7万1千人（14年12月31日現在）がマスターに認定されている。このうち、20歳以下は約15％で「社会人や大学生の受験者が多く、高校生での取得はすごい」（同社広報部）と話す。

県内の専門学校に進学するという前田さんは「将来は事務の仕事に就きたい。いずれは自分の店を持ち資格を生かして海外とも取引をしてみたい」と話している。